

しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことはありません。

わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。

高松泉キリスト教会 ニュースレター

第 180 号 (2025 年 3 月号)

いずみ

香川県高松市伏石町 2018-5
Tel & Fax 087-867-2302
<http://izumichurch.holy.jp/>
発行人 宮地 宏一



先月は朝晩がマイナスまで冷え込んだ日が多かったですね。日中も雪がちらつくことがあり、子どもたちは「雪だ～雪だ～！」と大喜びでしたが、もちろん積もりません。雪遊びをしたことがない彼らが少しでも雪に触れることができたらと思っていたら、**雲辺寺山**に雪が積もっているとの情報をキャッチ。ロープウェイに乗って山頂に着くと、一面銀世界でした。子どもたちは**大興奮**して雪だるまを作ったり、そりをしたり。でも 1 時間もしないうちに「寒い」「帰りたい」と言い出しました。雪遊び、**少しの時間**で良かったようです笑



今月も神さまからの恵みが、お一人お一人の上に豊かに注がれますように。

(2025.03.01)



大切な存在

先日、立ち寄った銀行の駐車場が満車状態でした。ところが**タイミング**よく空いたので、車をとめて銀行に入ろうとすると、ある車が駐車場のスペースではないところにとめようとしているのが見えました。それからしばらくして、二人の高齢男性が**口論**しながら、銀行の中に入ってきたのです。ひとりが「駐車場じゃないところに車をとめて、良いわけないだろう」と文句を言い、もう一人が**一生懸命**言い訳をしていました。引っ張り出された支店長さんも、どう対応したら良いか困惑顔。



確かに駐車スペース以外にとめるのは、ルール違反ですが、そこまで悪いことをしているとも言えません。文句を言っている人も、ほとんど**不利益**がなかったはずです。ただルールを破った者が得をするのが、どうしても許すことができず、このような行動に出たのでしょう。真面目に生きようとすればするほど、**正義感**が強くなります。ルール違反をする人、非常識な人に対して怒り、直接文句を言ったり、心でさばくことがあるのです。

自分には何の関係もなく、不利益を被るわけでもないのに。私もどちらかというと真面目。ルール違反をしている人を見ると、**イラッ**とします。確かに真面目に生きるのは、良いことです。みんながルールを無視して、自分勝手にしていたら世の中は混乱してしまうからです。けれど自分は誰よりも正しいと思い込むと、人を**さばきたく**なります。

私も随分、人をバッサバッサさばいてきたのです。それで私の心がスッキリするかというと、そうではありませんでした。何か**苦々しい**思いだけが残ったのです。そんな自分を振り返りながら、**イエスさま**がしてくださった一つのたとえを思い出しました。

..... ❄️❄️❄️

二人の人が祈るために、**神殿**に上って行きます。一人は自分が正しいと確信している人で、もう一人はみんなから罪人と後ろ指をさされている人でした。一人の目の人が神殿の一番目立つ場所に行き、両手を上げて心の中で祈ります。





「神さま、私が他の人のように盗んだり、不正をしない者であることを感謝します。特に、ここにいる罪深い人のようにでないことを感謝します。私は信仰深くて、正しいことばかりをしています」

一方、罪深い人は神殿の端っこの方に立って、目を天に向けようとせず、自分の胸をたたいて祈ります。「神さま、罪人の私をあわれんでください」



この二人のうち、どちらの祈りを神さまが喜ばれたでしょうか。罪深い人の祈りです。一人目の人は、他の人と比較して、自分が正しいことを誇っています。また自分がどれだけ良いことをしているかを自慢するのです。このような祈りを私たちはしないかもしれません。でも「〇〇さんのような悪い性格でなくて良かった」とか、様々な事件を見聞きして「あの人のような悪人でなくて幸せ」と思うことはないでしょうか。

以前の私は、こんな風に人々を見下し、自分の正しさを誇っていました。けれど、あるとき急に自分が誰よりも嫌な人間で、事件を起こした人と何ら変わらない者だと示されたのです。それから自分の悪いところが、どんどん目につくようになりました。そして徐々に「こんな罪深い私をあわれんでください」と祈るようになっていったのです。

「あわれむ」とは「かわいそうに思う」ということ。だから「私をあわれんでください」とは「私をかわいそうに思ってください」ということになるのです。普通、私たちは自分をかわいそうに思って欲しいとは思いません。これはとても情けないことだからです。

でも本当の自分の姿を知ったとき、神さまのあわれみにすぎるしかなくなるのです。しかも神さまは私たちをあわれむだけでなく、罪深い私たちを無条件で愛してくださるのです。この神さまの愛をそのまま受け取ることは、プライドが高い私たちには難しいですね。



私も自分の力で立派に生きて、みんなから認められ、成功したいと思っています。小さなプライドが砕かれ、低くされ、あわれまれる人生など歩みたくないのです。ある本に「自分でもわかっていながら、金持ちになれば、権力が手に入ったら、有名になればとよく夢想する。これらの思いに捕らわれるのは、自分は神さまにとって大切な存在だという事実信頼し切れていない弱さを示している」とありました。

私たちは神さまがいくら「あなたを愛する。何よりも大切な存在だ」と言われても、「いや、でも…」と拒絶してしまうことがあるのです。けれど、お一人お一人は神さまにとって大切な存在で、愛するひとり子イエスさまを送ってくださったほどに永遠の愛で愛してくださっている事実は決して変わりません。この神さまの愛をともに心から喜び、素直に受け入れることができれば、自分を誇って人をさばく人生から、自分を低くし人を生かす人生へと変えられることでしょう。

永遠の愛をもって、

わたしはあなたを愛した。

それゆえ、わたしはあなたに

真実の愛を尽くし続けた。



- 礼拝 毎週日曜日 10:30~12:00
- イズミン・キッズ 毎週日曜日 9:30~10:20
- おやこ de えほん 毎週水曜日 10:30~12:00

* どなたでも歓迎いたします！すべて事前申込みなしで参加いただけます。

上記の他に様々な相談や聖書の学びをすることができます。お気軽にお問い合わせください。

